



第十二回

九島院 修養会

～ 彦根大仏と龍潭寺庭園・襖絵 ～

平成 18 年 11 月 3 日 (金)

## ご挨拶

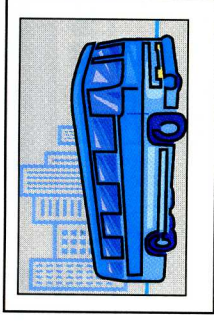
第 12 回修養会にご参加頂きまして、誠に有難うございます。  
本年は、大仏巡礼シリーズ第 3 弾として、彦根の黄檗宗済福寺を  
拝塔いたしました。ご本尊の通称『彦根大仏』は靈驗あらたかな  
地蔵尊として信仰をあつめている奇仏で、あまり知られていない  
大仏さまです。秋天のもと、築城 400 年を来年にひかえる城下町  
彦根を堪能しましょう。

合掌

住職 奥田啓知 九拝



# 旅程表



九島院出発 →→ 阪神高速・名神高速 →→ 多賀SA (休憩) →→  
8:30 9:45

彦根IC →→ 濟福寺 (彦根大仏・拝塔) →→ 昼食 (料亭旅館 やす井)  
10:30 10:40 ~ 11:30 11:40 ~ 13:00

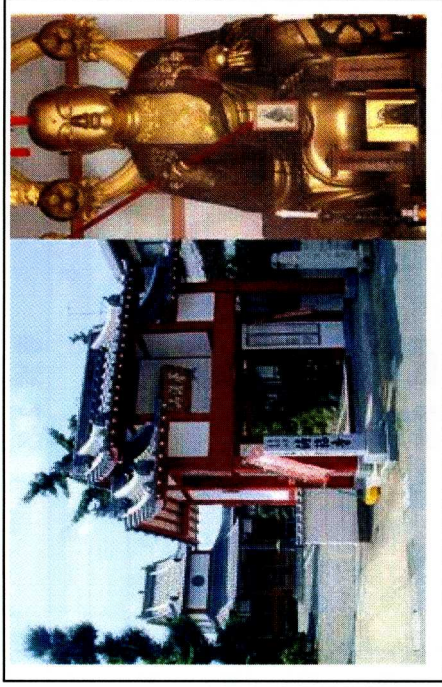
→→ 龍潭寺 (拝観) →→ 夢京橋キャッスルロード (散策・お買物)  
13:10 ~ 14:00 14:20 ~ 15:10

→→ 彦根IC →→ 名神高速・阪神高速 →→ 九島院 (解散)  
15:20 17:40 (予定)

## 濟福寺（彦根大仏）

黄檗宗寺院。普渡山と号し、およそ390年前、大坂城落城当時、二十有余万人の戦没者供養の為に、彦根藩四代藩主 直興公の寄進により創設された。その後、寛文年間(1660年代)大虚道清禅師を開山に仰ぎ、慧真和尚によって開基された。

大虚道清禅師は、彦根藩家老 広瀬郷右衛門の子で10歳で出家し、黄檗第2代木庵禅師に嗣法した学僧である。



文化4年(1807)、5代住職 月舟如棹和尚と11代藩主 直中公が、時を同じくして『京都寺町にある誓願寺の柳の根元に、地藏菩薩の御頭が埋まっているから、これを礼拝せよ』との霊のお告げを授かり、京都の仏師 早川兵次に命じて、掘り出した御頭に胴体をつけ、奇木造りの丈六仏の延命地藏菩薩を造った。見事な出来ばえに感心した直中公は、姫の御念持仏である安産地藏尊を寄進され、これを胎内仏としてお祀りし、膝上の子宝地藏尊とあわせ、地藏3体として祀られてきました。錫の器に入れて供えた浄水は、おこり(マリア)に効くとかで、地藏尊の霊験により子宝・安産に恵まれるなど数々の御利益が伝えられ、広く人々の崇敬を集めてきました。

平成6年の大改修で堂宇が完成し、200年ぶりに再建されました。

## 龍潭寺

臨濟宗妙心寺派。天平5年(734)行基菩薩によって

遠江国引佐郡井伊谷郷に開基。元中2年(1385)

後醍醐天皇第3皇子宗良親王によって中興された。

慶長5年(1600)井伊直政公が、佐保山城主とされた

のを機に、昊天禪師により佐保山山麓に移転開山した

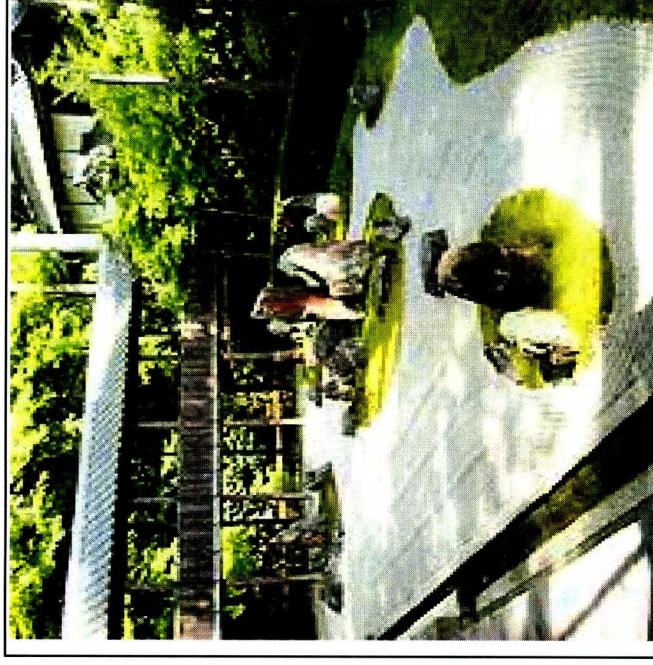
彦根藩井伊家の菩提寺である。

ご本尊・揚柳観音菩薩像は平安初期の作で、元和年間

(1680年代)に琵琶湖中よりあらわれた秘仏である。

彦根市指定文化財の名庭、芭蕉の弟子十哲の一人、

森川許六の作の方丈襖絵56面は、山水・人物・花鳥・走獣など10種に及ぶ画題の多様さで貴重な作品です。









大阪市史跡 龍溪禅師墓所  
寛文大津波・勅賜大宗正統禅師水定遺蹟

# 黄檗宗 靈龜山 九島 禅院

〒550-0022 大阪府大阪市西区本田3丁目4-18



TEL (06) 6583-2725

FAX (06) 6583-0908

郵便振替口座番号00930-9-111780

ホームページ <http://www.kyutouin.or.jp>